2013年５月８日

各　　位

住　　所　東京都千代田区三崎町三丁目３番23号
会 社 名　芙蓉総合リース株式会社
代表者の役職氏名　代表取締役社長　　佐藤　隆
（コード番号：8424　東証第１部）
問合せ先　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ室長 吉田 哲也
電話番号　０３－５２７５－８８９１

2013年３月期決算の概要等について

2013年３月期決算の概要等をお知らせいたします。
本日発表いたしました「平成25年３月期 決算短信」もあわせてご参照ください。

１．2013年３月期 決算の概要（連結）

2012年度のリース業界の取扱高（社団法人リース事業協会統計(速報値)）は、前期比6.6%増と２年連続で増加となりました。機種別取扱高においても、情報通信機器をはじめとしてほぼ全ての分類で前期比プラスとなるなど堅調に推移しました。

このような中での当社グループの事業活動ですが、コアビジネスである「リース」の契約実行高は前期比7.5%増と、業界平均を上回る実績を上げました。また、「割賦」は43.6%増、「営業貸付」は19.1%増と大幅に増加しました。この結果、全体の契約実行高は前期比12.9%増加の5,472億円となり、営業資産残高（割賦未実現利益控除後）は前期末比3.8%増加の１兆4,958億５千２百万円と順調に増加しております。

業績面では、売上高、利益ともにほぼ予想どおりの実績となりました。しかしながら、前期との比較では、売上高は営業資産残高の増加などを背景に5.0%の増加となりましたが、利益は2009年３月期から適用された新リース会計基準(利息法)による利益前倒し効果の一巡、低金利環境・競合激化を背景とした営業資産利回りの低下、並びに、営業外収益に計上される貸倒引当金戻入額の減少等から減益となりました。なお、当期純利益は、昨年４月に100%出資子会社の日本抵当証券(株) を吸収合併したことなどにより実効税率が下がったことから、減益幅が縮小しております。

［2013年３月期（2012年４月～2013年３月）の決算概要］　（金額単位：百万円）

	当期実績	業績予想対比		前期対比	
		差異額	達成率	増減額	増減率
売　上　高	442,557	＋22,557	105.4%	＋21,066	＋5.0%
営業利益	24,786	△213	99.1%	△3,868	△13.5%
経常利益	26,434	＋434	101.7%	△5,658	△17.6%
当期純利益	15,647	＋647	104.3%	△842	△5.1%

２．前期業績比較（連結）

当期の業績を前期実績と比較しますと、次のとおりであります。

（単位：億円、単位未満四捨五入）

	12年3月期 実績 (11年4月~12年3月)	13年3月期 実績 (12年4月~13年3月)	前期対比	
			増減額	増減率
売　上　高	4,215	4,426	＋211	＋ 5.0%
売 上 原 価	3,692	3,932	＋241	＋ 6.5%
うち　資金原価	69	71	＋ 2	＋ 3.0%
売上総利益	523	493	△ 30	△ 5.8%
販売費及び一般管理費	237	245	＋ 8	＋ 3.6%
うち　貸倒関連費用	8	10	＋ 2	＋21.6%
営 業 利 益	287	248	△ 39	△13.5%
営業外損益	34	16	△ 18	△52.1%
うち　貸倒関連損益等	15	2	△ 13	△84.9%
経 常 利 益	321	264	△ 57	△17.6%
特 別 損 益	△ 3	△ 3	＋ 0	―
税金等調整前当期純利益	318	262	△ 56	△17.7%
当期純利益	165	156	△ 8	△ 5.1%

1株当たり当期純利益	546.40円	518.21円		
1株当たり純資産	4,243.99円	5,128.96円		

(注)前期対比の増減額および増減率は、表示単位未満を含めた金額での計算結果を表示しております。

３．営業実績（連結）

当期の営業実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

［当期（2012年4月～2013年3月)］

（単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	3,655	3,243	412	52	360
割　賦	617	597	20	5	15
リース及び割賦 計	4,272	3,840	432	57	376
営　業　貸　付	76	－	76	14	62
そ　の　他	77	21	56	1	55
合　計	4,426	3,861	564	71	493

＜ご参考＞

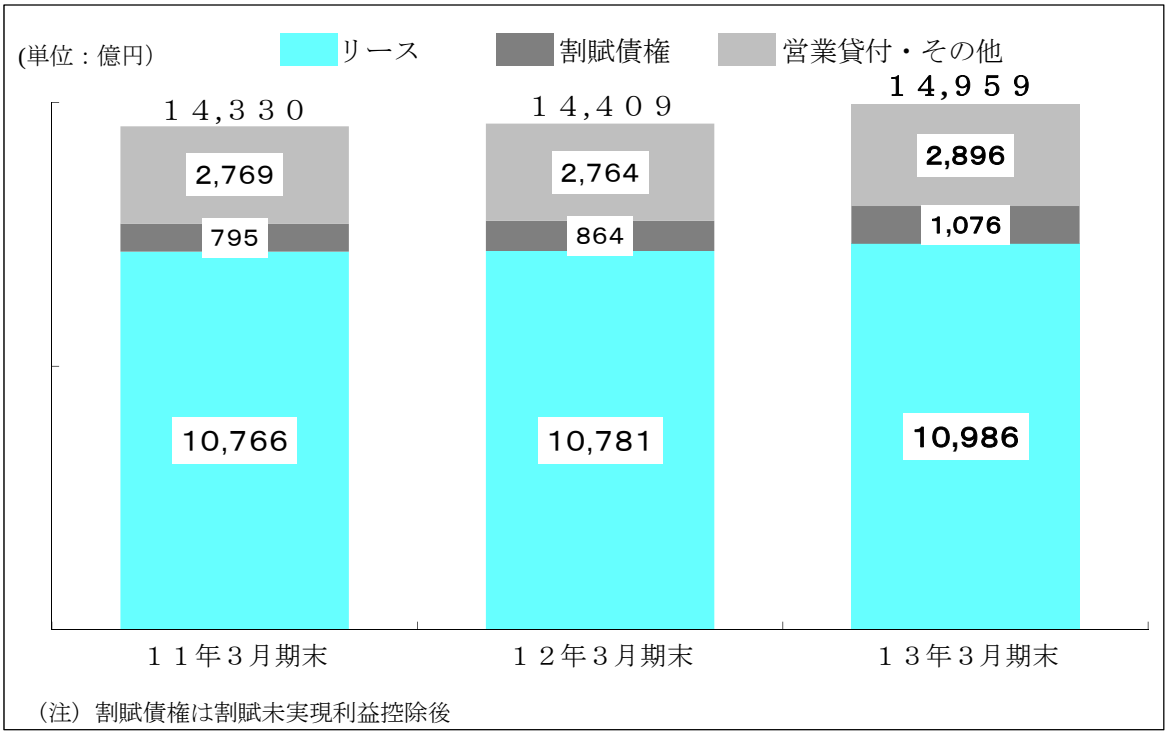
［前期（2011年4月～2012年3月)］

（単位：億円、単位未満四捨五入）

	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益
リース	3,620	3,184	436	51	385
割　賦	436	417	19	4	14
リース及び割賦 計	4,056	3,601	455	55	400
営　業　貸　付	78	－	78	13	65
そ　の　他	80	21	59	1	59
合　計	4,215	3,622	593	69	523

４．営業資産残高の状況（連結）

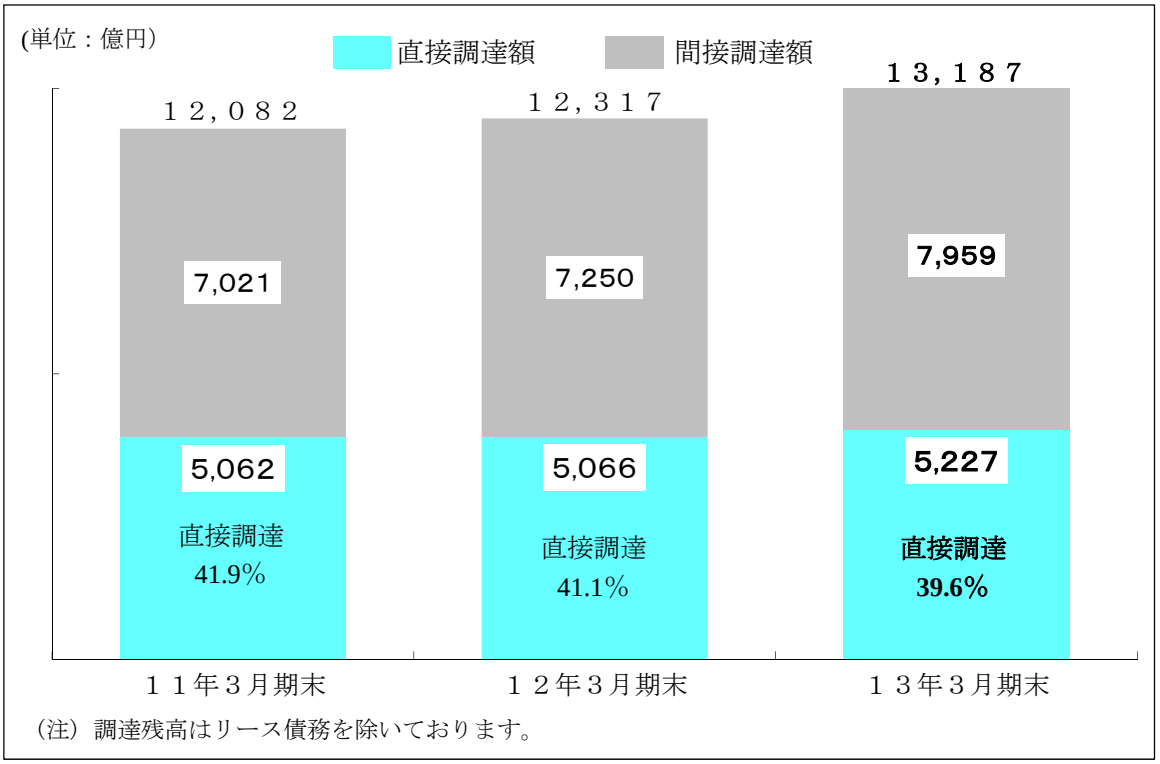
当期末の営業資産残高は、契約実行高の増加により「リース」「割賦」「営業貸付」が堅調に積み上がり、前期末比 549 億円(3.8%)増加して 1 兆 4,959 億円となりました。



（注）割賦債権は割賦未実現利益控除後

５．調達の状況（連結）

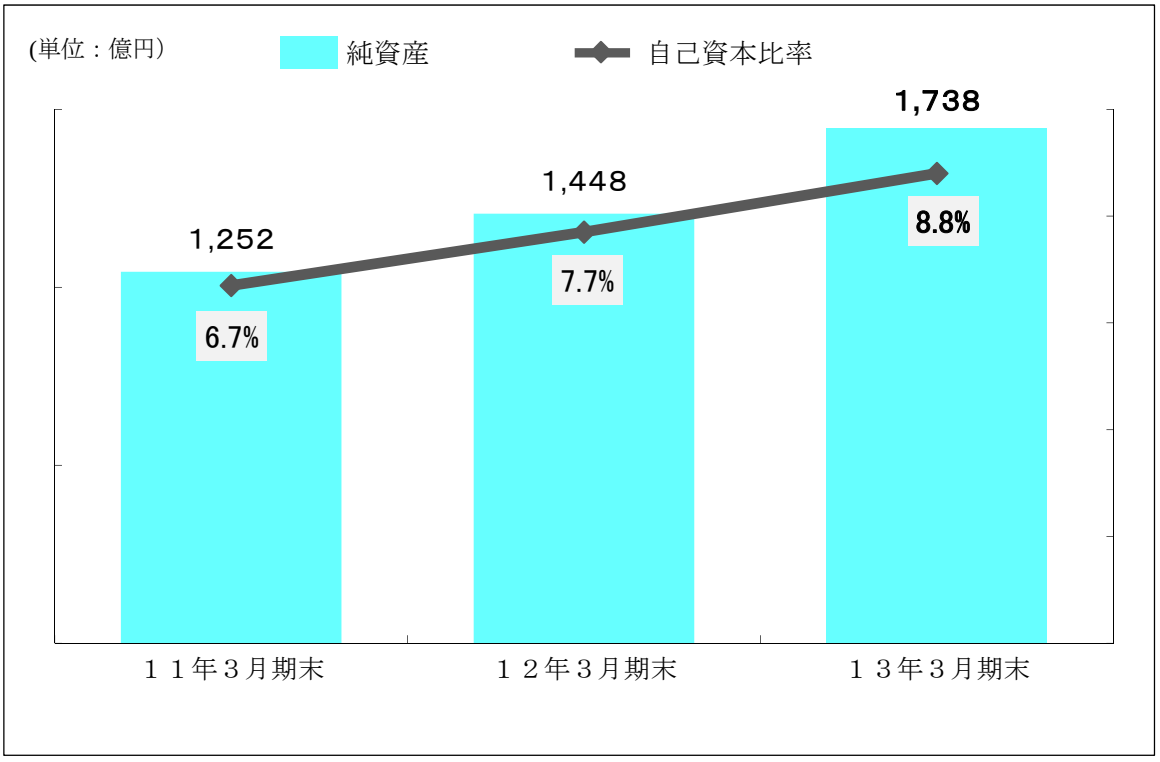
当期末の調達残高は、前期末比 870 億円（7.1%）増加し 1 兆 3,187 億円となりました。また、直接調達比率は、39.6%となりました。



（注）調達残高はリース債務を除いております。

６．純資産の状況（連結）

当期末の純資産は、利益剰余金が前期末比 135 億円増加したことや、その他有価証券評価差額金が前期末比 126 億円増加したことなどから、前期末比 290 億円（20.0%）増加の 1,738 億円となりました。また、自己資本比率は前期末比 1.1 ポイント増加して、8.8%となりました。



７．2014 年３月期 連結業績予想ならびに配当予想について

(1) 2014 年 3 月期 連結業績予想

（金額単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通　　期	440,000	22,000	23,000	12,000	397 円 22 銭

(2) 2014 年 3 月期 配当予想

	第２四半期末	期　末	年　間
１株当たり配当金	35 円 00 銭	35 円 00 銭	70 円 00 銭

（注）上記の業績および配当予想は現時点での予想数値であり、実際の業績および配当額は今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上

【ご参考】リース契約実行高 機種別（連結）

（単位：億円）

	13年3月期
情報機器・事務機器	1,833
産業工作機械	414
土木建設機械	165
輸送用機器	394
医療機器	240
商業・サービス用機器	491
その他	342
合計	3,880

＜構成比＞

